

自然

自然がいっぱい！
美しいまち



みどりと歴史 安居げんき夢プラン

歴史

文化と歴史が
息づくまち

～世代を超えたまちづくり～

「安居は自然が豊か、静かで住みよい」と多くの方が思っています。これまで皆様の協力で、楽しい地区に発展してきました。しかしその一方で「車がないと通勤、通学、通院が楽でない」「暗がりが多くて怖い」との声や、「病院やコンビニがあったら良い」等、お年寄りに厳しく、若者に魅力のある地区になっていないとの指摘もあります。“より住みたくなるまち”にするために世代を超え、夢と希望をもって、次の「安居げんきプラン」を目指しましょう！

貝塚跡やオシッサマのお渡りに代表されるように、はるか昔から、安居には豊かな文化が育まれていたのね。



安居の豊かな自然や貴重な動植物は、地域みんなの努力によって保たれているんだね。



ピオトープにて田植え

絶滅危惧種ミスアオイの保全活動

まちをあげてのクリーン作戦

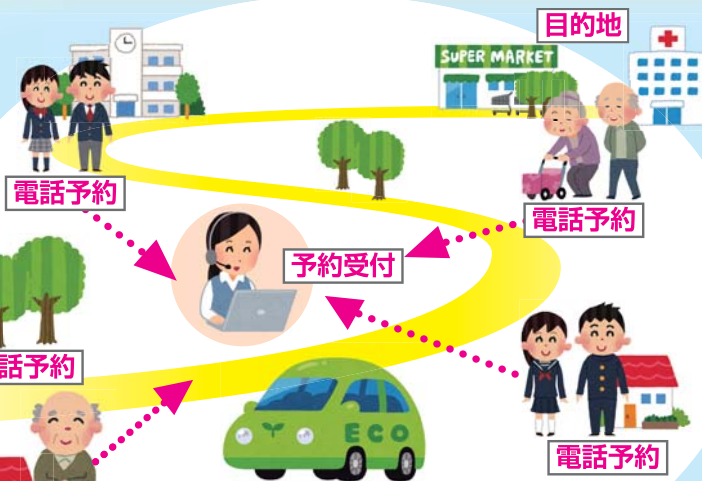
日本一小さい希少種ハッチョウトンボの生息地

環境のパロメーターのひとつホタルが飛び交うまち

近世の農耕具など多くの展示物を保有する歴史資料館

福井市指定無形民俗文化財オシッサマのお渡り

縄文時代の生活跡北堀貝塚跡



乗合タクシー

目的地や家に来てくれる乗合タクシーの構築

案内板の設置



誰にでも分かりやすい案内板設置

街灯設置促進



夜道も安心して歩ける明るいまちづくり

安居ブランドの発信拠点

道の駅



あごころん あぶらげめし ATM 設置
地元食材とそれを利用した伝統料理を PR

各種施設の誘致



魅力ある各種施設を誘致

フェニックスパークにこんな施設があったら、もっとみんなが楽しめるね！人が集まる道の駅もあつたらにぎやかだろうな。

みんなが集う「フェニックスパーク」

集う

安全・安心
住みやすいまち

交通

コミュニティバス



通学や生活圏をめぐるコミュニティバス誘致

マナー向上啓発活動



交通マナー



ゴミの分別マナー

※このプランは、全世帯を対象に行ったアンケートや、小中学生を含むワークショップで出た意見や要望をまとめたものです。

安居地区

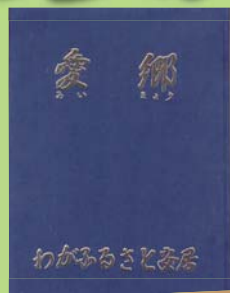
地域の誇り推進事業 20年の歩み



平成7年
公民館新築移転

安居公民館

西安居保育園に併設されていた公民館が独立、現在地に新築移転されました。



平成9年5月
「愛郷」発刊

発刊：うらがまちづくり安居地区委員会

多くの先人が守ってきた伝統を後世に伝えるため、郷土誌「愛郷」を発刊しました。
資料の収集から編集に至るまで東奔西走し、会合を重ねた30名の委員の方々との苦労は貴重な思い出となりました。
いつまでも本誌が多くの皆様に親しまれ活用される事を願います。

西出定市



(第3回安居ふれあいまつりの様子)
恒例の「ふれあいまつり」

平成10年
人形劇「オシッサマのお渡り」上演
以後、平成15年まで毎年
地区に伝わる昔話を上演



第1回オシッサマのお渡り



第2回フケのため池

写真で綴る安居の歴史

高齢者が保存している昔の貴重な写真を、デジタル化し次世代に残そうと計画。集められた約120枚の写真を「人々の暮らし」「道路の移り変わり」「神社・仏閣」「歴代公民館長」の4つの項目に分類し、紹介しながら歴史を語りました。ナレーションは当時80歳の永井久枝さんに。何度も何度も録音をやり直し、二人ががんばった事は今でも忘れません。

稲葉重太郎



平成22年3月
「写真で綴る安居の歴史」DVD作成

作成：安居公民館

平成22年
安居ふるさと創り
委員会発足

平成24年
まちづくりに関する
アンケート調査実施
(全世帯、小・中学校対象)

平成24年
ロゴマーク&
キャッチフレーズ決定



つたえようつなげよう
安居の郷

ロゴは、安居の「安」の文字をデザイン化しています。
山に囲まれた豊かな自然を一番上の葉っぱのモチーフで表現し、ハートは「人情豊かな人々」と「安全安心」を表現しています。その中心を未更毛川がはしり、豊かな安居が永遠続くように祈りを込めて、一番下に無限大のマークをあしらいました。

堀江小有里

発行：安居の里を守る会
平成21年より毎年発行
ホタルマップ



恒例の「納涼夏まつり」

<事業発足と経緯について>

安居地区には昔から人が住み、生活や信仰の象徴のひとつ、石仏が点在しています。壮年会事業の一環として、これを保全していく事を考えました。

文献資料や言い伝えをもとに場所や由来などを調べ、総数28体、周辺を整備し標を設置。毎年地区を変えながら、古くなった標の立て替え・草刈りや掃除を行っています。

同じ頃婦人学級が安居の伝統の味を傳承しようと学習しており、両者の成果を冊子にまとめました。

清水幸男



平成16年7月
「石仏像」発刊

発刊：壮年会



「つづける座おしし」の思い出

地域の民話を人形劇で披露しようと、有志ではじめました。全部で6作品、毎年新作を制作しました。台本の構成、人形制作も自分たちで。出来上がった台本を福井弁に直す作業が毎度爆笑で楽しかったです。

きつかったのは公演日が近くなると、連日夜遅くなって翌日の朝起きるのがつらかったことですかね。

児玉定美

江戸時代末期。末町の百姓「惣助」が、30余年の歳月をかけて隧道を完成させた。その功績は今も語り継がれている。

平成25年
「安居ふるさと探訪」発行

発行：マップ作り委員会

ひと目で安居地区の事がわかるようなものをめざして委員会を立ち上げました。

施設や自然・歴史等について調査し、写真でまとめ分かりやすくする事を心がけました。

取材のため地区の隅々まで歩き、よい勉強をさせていただきました。

皆川 潔



平成26年
まちづくりワークショップ開催

様々な年代の方が参加しましたが、その中で、中学生の意見に感心しました。色々な分野にわたる強い面、弱い面たくさん意見が出て、自分達の地域についてよく考えている事がわかりました。

私自身は、最初は何か難しいなと思いましたが、皆さんと色々な意見を交わして、改めて住んでいるまちについて考える機会となり、とてもよい経験をさせていただきました。

稲葉泰久

平成28年
みどりと歴史
安居げんき夢プラン作成

安居ふるさと創り委員の様々な世代及び立場の方でプロジェクトチームを立ち上げました。

27年4月から毎月集まり、過去に行ったアンケート調査やワークショップの結果をもとに、熱い議論を重ねながら作成しました。

今後は、このプランをもとに、安居地区の皆さんがより住みよいと実感できるまちづくりを目指しましょう。

巢守 誠



安居中美術部
平成27年11月ジオラマ作成